



福山赤坂ロータリークラブ週報

第447回例会

2006年4月18日(火)

超我の奉仕

2005~2006年度 国際ロータリー会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

- 会長 菅 雪雄
- 副会長 門田一治
- 幹事 前田真治
- 会計 藤原美則
- SAA 今井尚正
- 副幹事 佐藤俊之

創立 1996.10.8 承認 1996.10.23

例会場 福山市赤坂町赤坂 1276
 事務所 福山市赤坂町赤坂 1276
 TEL (084)920-4141
 FAX (084)920-4140
 ホームページ <http://www.fa-rc.jp>
 E-mail fa-rc@aurora.ocn.ne.jp
 例会日 毎週火曜日 12:30~13:30

◆会長報告

今日はロータリーソングの「奉仕の理想」の歌詞についてのお話をしたいと思います。奉仕の理想のソングの詩を改めたらと会員の中からの意見がありました。その中で「御国にささげん我等の生業」の部分を改訂してはどうかというものでした。そしてこの歌詞は天皇制国家色をイメージさせると言うことであります。しかし実際はこの歌詞は「世界に捧げん我等の生業」というのが本来の歌詞だそうです。ではどうして変わったかといいますと、昭和8年頃から日本は軍部の力が強くなり言論や結社の統制がなされるようになりました。ロータリーも軍部の弾圧が強くなり例会の存続さえも危ぶまれる瀬戸際に立たされました。そこで例会場に日の丸の国旗を掲げ国家を歌い、そして「奉仕の理想」も「御国に捧げん」と涙を流しながら歌い例会を存続させるために全員が命がけで守ったそうです。それらの諸先輩が命がけで守った例会を思い、我々はロータリーの例会に臨むとき当時のことを偲び「御国に捧げん」という、時代錯誤の歌詞を、戦争をなくし平和の願う気持ちをこめてそのまま歌い続けているのです。ロータリーの精神を貫いた人達の気持ちを次世代に伝えていくために歌っているのだと思います。私はこの話を是非若い会員の皆様は語り伝えてほしいと思います。少しでも参考になればと思います。会長の時間を終わります。

◆幹事報告

「ロータリーワールド」

(例会変更)

福山 RC 5月1日(月) 休会

5月8日(月) 職場例会 芦田川みるみる館

府中RC 5月9日(火) 職場例会 カイハラ(株)

5月30日(火) → 5月28日(日) 15:00~

ヒロボーライブファクトリー 鞆の浦RCとの合同例会

5月2日(火) 休会

◆出席報告

○会員数 32名 ○出席率 82.76%

欠席者 5名 佐藤(直)さん 谷口さん 津田さん 下宮さん 麦谷さん

○4月4日補正出席 欠席8名中 メイクアップ 1名 補正出席率 75.86%

◆スマイルBOX

会員創業創立記念祝	今井尚正さん (有)ニッセイロール中国	H2年4月1日
	伊藤 定さん 伊藤自動車钣金塗装	42年4月1日
	門田一治さん (有)勉強堂	4年4月1日
	下宮康成さん (有)芦品警備保障	H2年4月1日
	徳永雅俊さん (有)フォトランドトクナガ	37年4月1日

申告スマイル

菅 雪雄会長……今日のプログラムは会員卓話で国際奉仕委員長杉原さんのG S Eについての卓話を急
にお願いし申し訳ありません、よろしくお願い致します。

前田真治幹事……先日 16 日の福山北R Cの 35 周年には私用で出席できなかった為代わりに佐藤俊之さ
んに出席していただきありがとうございました。ついでですが長男が先日アイシン精機に就職しました。
ありがとうございます。

真田惣行さん……一番若い孫が小学校へ入学しました。赤坂さんには 5 人目の最後の孫が卒園し長い間お
世話になりました。先日福山北R Cの 35 周年に招待され、行って来ました。私達の 10 周年行事の参
考になりました。

杉原康生さん……谷口さんのピンチヒッターで卓話をします。とりとめの無い話になるかと思いますが、
辛抱してお聞きください。

武田正敏さん……今夕は I M記録委員会の最終校正会があります。関係各位にはよろしくお願い致します。
例会に欠席しておりました、申し訳ございません。

今井尚正さん……両親の代行で祖父の 33 回忌法要を無事務めさせていただきました。前田さんに協力い
ただき感謝しております。又本日の卓話、杉原節を久しぶりに聞かせていただきます。

◆プログラム：会員卓話：「G S Eについて」：杉原康生さん

9 月 29 日ガバナー補佐あてにガバナー事務所より受け入れについてのお願いが届く。

10 月 3 日G S E派遣の受け入れのお願いと予定表が送られてくる。

G S Eとは

研究グループ交換 (Group Study Exchange) 地区内の優秀な実業人 4 名を選び、ロータリアン 1 名が引
率して 4 週ないし 6 週間の海外視察を行うプログラム。

高官の組み合わせは国際ロータリーの承認を受けなければならない。団員の年齢は 25 歳～40 歳まで、人
員も 1～2 名追加できる。2002～2003 年度からG S Eは隔年に実施する。たとえばある年にチームを派
遣すると翌年受け入れることになります。国際財団活動資金 (DDF) を使えば毎年は件受け入れが可能
です。詳しくは、手続要覧の 127 頁ロータリー財団プログラムにあります。

各クラブへのお願い

10 グループは 10 月 5 日歓迎レセプション担当

11 グループは 10 月 6 日からの同行

11 月 1 日のガバナー歓送会報告会

徳永会員が出席され、ガバナーから福山赤坂ロータリークラブには大変お世話になったとお言葉があっ
たとの報告を聞き、大変であったが良かったと思っております。





次回例会案内 5月9日(火) 会員卓話 10周年に向けて
5月16日(火) ゲスト卓話